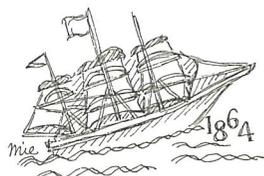


DOSHISHA REPORT



法人部

●第二十四回東京新島講座

十月十八日

第二十四回東京新島講座公開講演会が同志社大学東京アカデミーで開催された。今回は藤井透大学工学部教授と岡島貞一郎女子大学現代社会学部教授がそれぞれ「竹は地球を救う―竹は環境に優しいエコ材料―」、「イラク戦争以降」の演題で講演され、約百人が参加した。

●創立記念行事

リユニオン

十一月二日 於 京田辺キャンパス

創立記念礼拝

十一月二十三日 於 同志社礼拝堂
早天祈祷会

十一月二十九日 於 若王子山頂

創立一二八周年記念式

十一月二十九日

於 大学神学館礼拝堂

●第十回外国人教員懇談会

十二月十二日

第十回外国人教員懇談会が京都ガーデンパレスで開催された。本懇談会は国際主義教育委員会主催で例年この時期に開催され、今回は約六十人が参加して懇談した。

大学

●サッカーフェスティバル開催

七月二十日

体育会サッカー部はOB会と共に京田辺キャンパスで初めてサッカーフェスティバルを開催した。この催しは「大学スポーツで地域貢献」をテーマに総勢約五十人のスタッフが企画立案し、約百三十人の小・中学生が参加した。名古屋グランパスなどJリーグに所属していた中西哲生氏（スポーツコメンテーター）など

卒業生も多数参加して、現役選手と共に指導に当たった。この催しは、「関西における大学スポーツによる地域貢献の先駆的イベント」として、朝日、読売、京都の各新聞にも紹介された。

●東京就職懇談会を開催

九月二十二日

帝国ホテル東京で本社機能を東京に置く企業百七十社の人事担当者を引き、採用御礼と情報交換、情報発信を目的として「同志社大学東京就職懇談会―感謝と懇親の夕べ―」を開催。大学からは学長を初め各学部就職委員などが参加した。今回の開催は、東京に本社機能を置く企業への就職者が大阪を上回る状況の中、近年、大企業を中心として東京本社に人事等管理部門を集中する傾向が強まってきたためそれら企業の情報交換のため開催された。

●「朝の祈祷会」を始めました

キリスト教文化センターでは、この秋から、毎月一回、原則として、第一月曜日午前八時三十分から、朝の祈祷会を始めました。新島襄は日本における初期の牧師の一人であり、祈りの人でもあった。また、同志社では、これまでの長い歴史

の中でいろいろな形の祈りの集いが守られてきた。今回の朝の祈禱会では、こうした同志社の伝統を受け継ぎながら、学生・教職員が定期的に集まって、共に祈る場となればとの思いから始まった。



朝の祈禱会

● 京都府立医科大学と学術交流協定

同志社大学の教育研究の活性化と新たな展開を図るため、京都府立医科大学との学術交流に関する包括協定書ならびに研究交流に関する協定書が、十二月二十四日に調印・締結された。これによって研究者の交流や共同研究の推進により、

医工連携のみならず、ターミナルケア、臨牀心理、ソーシャルワークなどの人文・社会科学領域をも含めて、両大学の連携の下に研究資源を活用した大学間での先端的な研究交流が推進されることとなった。

● 大使講座開講

秋学期に同志社大学と読売新聞社との共催事業として「大使講座—今、世界を語る—」（法学部の正課科目）が開講された。

この講座では外交の第一線で活躍されているアメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・韓国・インドネシアの六カ国の駐日大使を講師として招聘し、各大使は、現在の重要な外交課題などについて講義した。

さらに、一月十七日には「大使講座特別フォーラム—日本外交を語る—」として川口順子外務大臣を迎えての講義も行われ約六百人の学生が受講した。

女子大学

● 同志社女子大学地区別懇談会

六月七日／金沢、七月五日／広島、七月十二日／東京で、地区別懇談会を開催した。二〇〇二年度から全国各地で、卒業生と栄光会との絆を強め、同志社女子大学の教育方針や取り組みに対する理解を得るため、同志社女子大学主催、同志社女子大学栄光会・同志社女子大学＜Lineの会共催で行われている。同志社女子大学隴谷壽教授による「祇園祭の変遷」と題した講演を行った後、懇親会で教職員と各会場（三十五〜七十五人の卒業生（含むLineの会会員）および栄光会会員などが交流を深め、盛況のうちに終了した。

● 音楽学科管弦楽団国内演奏会

九月十二日に神戸国際会館こくさいホール、十四日には札幌コンサートホールKitara大ホールで開催された。指揮黒岩英臣（桐朋学園大学助教・同志社女子大学講師）により、R・ワグナー／歌劇『タンホイザー』序曲、卒業生の野村文子氏（マンハイム国立劇場管弦楽団副首席ティンパニ奏者）をソリストに迎えてA・ジョリヴェ／打楽器と管弦楽のための協奏曲、P・チャイコフスキー／交

響曲第六番口短調Op.14「悲愴」を演奏。両日ともに二千人ほどの来聴者を迎え、好評を得た。

●同志社女子大学・城崎町 歴史文学まつり／ホスピタリティ体験実習

九月二十七日・二十八日、兵庫県立城崎大会議館大ホール他で開催。城崎町との共催で五年目を迎えた本事業は、昨年に引き続き文部科学省の委託事業に選定され、短歌・俳句コンクール、記念トークショーやコンサート、短歌・俳句の吟行会など多彩なイベントが催され、盛況のうちを終了した。

また、九月二十一日～二十七日の六泊七日の日程で、現代社会学部学生を中心に三十八人の学生が、城崎温泉の十四の旅館に泊まりこみ、布団のあげおろし、出迎え、見送り、配膳などの業務を体験しながら、温泉旅館でのホスピタリティを学んだ。現代社会学部三年次生には、インターンシップとして単位が認定された。

●秋季リトリート

十月二十五・二十六日、同志社びわくりトリートセンターで行われた。

伝道師になる前に出版編集に携わってこられた、うすきみどり氏（日本基督教団八幡ぶどうの木教会伝道師・本学卒業生・同志社大学神学研究科修了）による講演。「いつからでもはじめの一步」をテーマに、経験を通して見た女性の生き方・職業・人生観等をお話しいただいた。とくに一般社会から神学部への再入学を決断された理由なども話題とされ、四年次生ばかりでなく一～三年次生にとつても自分の生き方や将来について考えるひとときとなった。グループ討議、全体会も含め一泊二日の有意義な時間であった。

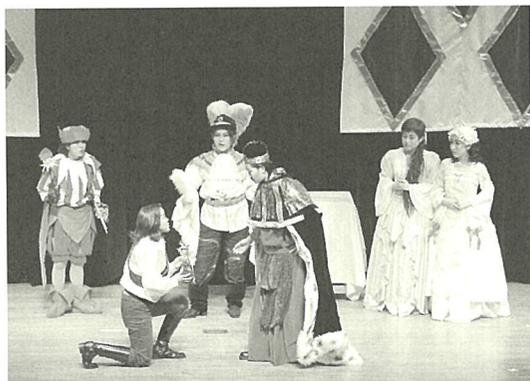
●同志社女子大学卒業生の集い二〇〇三

同志社女子大学と同志社女子大学Vineの会共催による卒業生の集いを、十一月二日京田辺キャンパスで開催した。今年是新島記念講堂で同志社大学ホームカミングデー二〇〇三・同志社創立百二十八周年記念リユニオンとの総合開会式を行った。同集いでは、同志社女子大学廣瀬千紗子教授による「歌舞伎発祥四百年記念 かぶく者たち」と題した講演・同志社女子大学Vineの会総会・卒

業生によるパイプオルガンミニコンサートが行われ、その後引き続きいて友和館食堂でティーパーティーを開催した。訪れた卒業生および教職員約三百五十人は、旧交を温め、発展を続ける母校での充実したひと時を過ごした。

●シェイクスピア・プロダクション公演 As You Like It

学芸学部英語文学科三、四年次の二年間にわたりシェイクスピアの作品を研



「お気に召すまま」の一シーン

究し、四年次の秋に英語による上演を行う。企画から衣装、舞台装置、照明、演出、キャスト等すべて学生の手によって行われ、第五十三回目を迎える二〇〇三年度は、十一月十四・十五日、新島記念講堂でAs You Like It（『お気に召すまま』）を上演。学内外から二日間でおよそ千四百人もの観客が来場し、公演は好評を博した。

●音楽学科定期演奏会

十二月六日、京都コンサートホール大ホールで、第三十三回定期演奏会を開催。音楽学科合唱団によるA・カプレ／三声のミサ曲、「祈りの風景」と題して五人の作曲家の作品五曲、音楽学科管弦楽団によるR・シュトラウス／交響詩「ティール・オイレンシュピエゲルの愉快ないたずら」Op.28、J・ブラームス／交響曲第三番へ長調Op.90が演奏され、多数の来聴者を迎え成功を取めた。

高等学校

●ウエスリーカレッジ（メルボルン）

交換留学生受け入れ（九人）

九月十九日～十月四日

●岩倉祭

体育祭

九月二十五日

クラス（二年）・クラブ発表

九月二十七日

クラス（二年）・クラブ発表

九月二十八日

演劇祭（三年）

九月二十九日

●他中学進学説明会（保護者対象）

十月十八日

●同志社中学入試説明会（保護者・受験生対象）

十月二十六日

●人権学習

十月二十八日

三年生 講演を聴いた後、感想文提出。

「戦時下のパレスチナ」

小林 聡氏（京都聖ステパノ教会司祭）

「働くこと・生きること」

壁谷俊則氏（前エイテック関西事務局長）

「視覚障害者の現状と課題」

坂本正伸氏（京都祝聴覚障害者協会市民啓発部長）

二年生

映画「アイアムサム」を鑑賞し、感想文提出。

一年生

アジア諸国から日本に来ている留学生を各クラス二人ずつ招いて講演してもらい、交流の後、感想文提出。

●宗教週間

十一月四～七日

「ひととはひと、私は私」

松本敏之氏（東京・経堂緑岡教会牧師）



岩倉祭の一コマ

「悲しむ力」

柴田もゆる氏(広島・廿日市教会牧師)

「何のために?」

横田明典氏(滋賀・近江金田教会牧師)

「わたしが私であるために」

向井希夫氏(大阪・聖和教会牧師)

●クリスマス礼拝

三年

十二月九日

一・二年

十二月十二日

●家庭クリスマス

十二月十三日

●止揚学園訪問

十二月十五日

教員三人 生徒十人参加

香里中高

●高二修学旅行事前学習

九月十二日

例年どおり班別学習の予行。京都駅集合・解散で京都市内を北・東・西のコースに分け、予め届け出たポイントをまわった。熱心に見学していて解散チェックに遅れる班もあった。

●文化祭・バザー

九月二十七日

準備の大詰の二十五日十一時に大雨、洪水、雷警報が出て、昼から休校となり次の日には卒業生も大動員して何とかオ

ープンにこぎつけた。

●防災訓練

十月二十四日

三年ぶりに実施した。六時間目に授業場所から至近のグラウンドに避難し、組担任が安否をチェックするという方式にしたが、混乱もなく無事終了した。

●中二修学旅行

十月二十六～二十九日

昨年と異なったところは、女子生徒が初めて参加。大沼に二泊、ちょうど紅葉の時期、朝市売り子体験などをした。

●高二修学旅行



文化祭の一コマ

十月二十七日～十一月一日
九八年から始まり、今回で五回目、ほぼ安定してきた。

●学年遠足、中一フィールドワーク

○二年度からは遠足は秋の一回だけとなった。今年の中三、高一で山を歩いた。中一は班別で地図をみて京都でフィールドワークを行った。

●大同窓会

十一月一日

昨年に続いて実施。パネルディスカッション他があった。

●中三社会科見学会

十一月四日・七日

五年前から卒業生にも協力してもらい、「会社を作ろう」というテーマで授業に取り組んでいる。このたび大阪商工会議所が中学生向け起業家プログラムをまとめ、本校がそのモデル授業指定校の一つになったこともあり、「大阪企業家ミュージアム」へ見学に行った。

●宗教教育強調週間

十一月五日

特別礼拝

(中学)「イエス様はどこに」

(高校)「こころの歌、信仰の歌」

ブルのポップスを聴こう」

松本敏之氏(経堂緑岡協会牧師)

●クリスマス祝会

地域 十二月二日

今年は関係者の熱意で、数年ぶりに天体観測会が実施できた。

中学 十二月十二日

●高校生権映画会

「戦場のピアニスト」(二四八分)

十二月五日

●クリスマス礼拝

「みんなを夢を」川上 盾氏(東神戸

十二月十二日

協会牧師/神戸マス・クワイア指揮者、歌と話。

●PTAの活動

文化祭・バザー・献米(前述)

京田辺キャンパス見学会(同志社ロー

ム記念館他、約百人) 十月二十一日

寝屋川六中校区クリーンキャンペーン

(香里百三十三人参加、十一月五日)

講演会(羽川英樹氏、十一月十三日)

●入試説明会

学校内外で数十回実施

女子中高

●修養会

九月六・七日

同志社びわこリトリートセンターで中



修養会の一コマ

学二年生から高校三年生の修養会が行われた。中学生は「理想の学校づくり」をテーマに小崎真先生を講師に迎え、先生の発題をもとに、教師と生徒のコミュニケーションについて考え、高校生は「私たちの将来」をテーマに、高橋詠子先生を講師に迎え、自分の将来にとって幸せとは何かについて語り合った。

●体育祭

九月三十日

幸い好天に恵まれ、徒競走、綱引き、仮装競演、応援合戦、プログラム最後のクラス対抗リレーに至るまで、活力ある展開がなされた。

●文化祭

十月二〜四日

「絆」をテーマとして開催された。合唱コンクールで熱唱し、中学一年生は通路にステンドグラスを飾り、中学二年・三年生はクラスごとの展示、高校生は文化系クラブの発表、有志による展示、演奏等様々な分野で活発な活動が行われた。また四日には並行して、女子部のバザーが開催された。

●収穫感謝礼拝

十一月十三・十四日

十三日には、ハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、十四日には、収穫物を持ち寄り、感謝の礼拝、午後は、寄せられた収穫物と献金を持って養護施設・老人ホームなどを訪問し、それぞれの場所で交流の時を持った。

●クリスマスページェント

十二月十七日

午前の部は生徒・教職員とで、午後の部は養護施設の迦陵園の方々を招き、一般の方々と共にクリスマス礼拝をまもつ

た。生徒、教職員、礼拝に参加した一般の方々から寄せられた献金は、全国の福祉関係の施設、事業所に送られた。

国際中高

●体育祭

中学校

九月二十三日

好天に恵まれ、生徒たちの運営により楽しい一日を過ごした。各種目にも工夫が凝らされ、応援合戦も年々完成度の高いものとなった。なお、高等学校は、二回の雨天順延の末、残念ながら中止となった。

●文化祭

九月二十六～二十八日

恒例となった中学三年生、高校三年生の演劇発表、クラス展示、文化系クラブの発表と盛りだくさんの催しが盛況のうちに行われた。

●中学校三年生体験学習

十月九・十日

知多半島、南知多温泉郷で実施された。日常生活を離れ、地引き網体験や市場などを見学した。クラスの交流を深め有意義な経験となった。

●校外学習

ブルームの丘

十月三十一日

中学校

高等学校一年 私の仕事館

高等学校二年 飛鳥地方

高等学校三年 神戸方面

それぞれの方面で体験学習を実施した。中学校は物作り体験を、高校生は日



「私の仕事館」で

常の生活から離れ歴史史跡や地域の施設を見学した。とりわけ今夏にオープンしたばかりの「私の仕事館」では、職業適性検査や伝統工芸品作りなどに挑戦し、充実した一日となった。

●人権教育強調月間

十月二十日～十一月十四日

高等学校では、「人種・民族差別問題」を、中学校では「生命の尊厳」をテーマとし、朝の礼拝、ホームルーム活動、コミュニケーションセンターでの催しなど様々な角度から人権の大切さを学んだ。

●秋季宗教週間

十一月四～十七日

外来講師の先生方による毎日の礼拝と六日の特別礼拝を通じて、同志社の根幹にあるキリスト教と日々生きる我々のあり方について深く学ぶ週間となった。

●高校アドベント礼拝

十一月十九日

吹奏楽部、聖歌隊、高校三年生の Songs in English 受講生、保護者コーラスグループの協力の下、アドベント礼拝が厳粛に行われた。

●創立記念礼拝

十一月二十一日

創立者の深い志と愛に思いを致す貴重

な時間を与えられた。

●フィリッブスアカデミー交換留学

八月二十八日～十二月十五日

本校から高等学校二年生二人が、創立者新島の母校であるフィリッブスアカデミーに四カ月間にわたる交換留学プログラムに参加し、極めて優秀な成果をあげた。また、ブライアン・エムリック君が交換留学生として本校に滞在し、充実した学習と国際交流を果してくれた。

●十二月高等学校入学試験

十二月十・十一日

本校・シンガポール・ロンドン・ニューヨーク・ロスアンゼルスで、二〇〇四年度高等学校入学試験が実施された。

中学校

●体育祭

九月十九日

●学園祭

九月二十五・二十六日

京都会馆第一ホールで二年生行事と演劇フェスティバル。

九月二十九日

本校で一年生行事、クラブ展、生徒会行事、「踊る同中生」発表。風間浦中学

校との交流会。



演劇フェスティバル

●全校バレーボール大会

十月二十八日

●秋季宗教人権週間

十一月四～八日

テーマ「ともにいきる」

チャペルでの学年礼拝

「どこにいるの、神さま」

向井希夫氏（大阪聖和教会牧師）

「だから今日、希望がある」

松本敏之氏（経堂緑岡教会牧師）

「いつまでも共にいる」

浦上結慈氏（大阪東十三教会牧師）

大学明德館での二学年合同礼拝

「みんなおなじ」

今井宗久氏（京都教育大学 本校卒業生）

「世界を広げる」

高井恵美氏（京都市立上賀茂小学校教諭・劇団「あしたの会」メンバー）

「珍事を尽くして天命を待つ」

ブルース・ハーブの演奏とお話

山下純一氏（珍獣王国）メンバー

山下純一氏（珍獣王国）メンバー

十一月七日

●人権行事

一、二年全員

午前 映画鑑賞「アイ・アム・サム」

午後 体験学習

① フラインドローディング

② 点字作業

③ 盲導犬・介助犬

④ 車椅子

⑤ 手話

⑥ ハンゲル講座

三年生 見学、体験学習

① 映画鑑賞

② 京都の人権ゆかりの地を訪ねて

③ 大阪コリアタウンを訪ねて

④ リバティ大阪

⑤ 衣笠授産所での共同作業体験

⑥ 沖縄研修旅行事前学習

● 読書週間

十一月十日～十四日

● 収穫感謝礼拝と施設訪問

十一月十八日

「恵みの種をばらまきながら」

西村二郎氏（鴨東教会牧師）

放課後、果物を持って生徒有志が白川学園、船岡寮、パンダ園など六施設を訪問。

● 創立記念礼拝

十一月二十一日

「花岡山の十三才」

本井康博氏（同志社社史資料室）

● クリスマス燭火礼拝

十二月二十日

全校生徒を二回に分けてチャペルで実施した。夕刻にも保護者・一般を対象に実施し、約五百人が参加した。

● スキーキャンブ

十二月二十三～二十七日

三年生（自由参加）対象。

四泊五日で長野県志賀高原スキー場へ。二百二十八人が参加し、スキーとスノーボードを楽しんだ。

● 沖縄研修旅行

十二月二十三～二十六日

三年生（自由参加）対象。

三泊四日で沖縄戦跡などを訪ね、平和学習と自然体験学習を行った。五十二人が参加。

幼稚園

● 七夕集会

七月二日

家族を迎え、クラスごとに歌やダンス、合奏などを聞いて、その後、親子で七夕飾りの製作をした。年長組は、シロホン演奏を披露した。年中組は三日、年少組は四日同様に行った。

● 親子じゃがいも堀り

七月七日

年長組親子参加のじゃがいも堀り。

● 七月お誕生日会

七月八日

午前中は全園児がホールに集まり、クラスごとに発表し、午後は誕生日を迎えた園児とその保護者が園に集まり、教員も共に昼食をいただき、ケーキにろうそくを灯してお祝いをした。

● お泊り保育（年長組）

七月十一・十二日

年長組が園に泊まり、キャンプファイ

ヤーや花火をし、楽しく過ごした。

● 琵琶湖キャンブ（年長組）

八月一日

年長組が比良のキャンプ場へ電車で出かけ、水遊び、バーベキュー、スイカ割りなどを楽しんだ。

● 夏期保育

八月四～六日

水遊び、色水遊び、フィンガーペインティングなどをして過ごした。

● 同窓会

八月四日

午後から卒園生が集まり、ゲームをしたり、おやつを食べたりして楽しく過ごした。

● 入園説明会

九月六日

二〇〇四年度の入園説明を行った。

● 入園考查

十月一日

● バザー

十月四日

女子中学・高等学校内で同窓会。女子中学・高等学校と共に園児制作のキーホルダーや保護者の手作り品等を販売した。

● 運動会

十月十八日

女子大学テニスコートで、保護者と共に競技やダンスを行った。

● 秋の遠足

十月二十七日

全園児で観音寺観光農園でも堀り。

●人づくり二十一世紀上京ふれあい祭

●親子親睦会

十一月一日

●いも堀り(年長組)

十一月七日

●収穫感謝祭

十一月十五日

●クラス懇談会(年長組)

十一月十四日

●お茶会(年長組)

十一月十四日

月二回おけいこしている年長組が、保護者を招いてお茶会を開いた。

●グリーンサント来園

十一月二十一日

スカンジナビア政府観光局の協力のもと



やってきたグリーンサント

と、デンマークからグリーンサントが来

園。将来自ども達が笑顔で暮らしていける豊かな地球を残すため、メッセージとお土産の種をいただいた。

●上京こどもまつり

十一月二十二日

●校祖墓参(年長組)

十一月二十八日

年長組親子で新島襄先生の墓前に集まり、同志社教会牧師佐伯幸雄先生による礼拝をもつた。

●クリスマス会食
メニユーは豚汁とおにぎり。年長園児が具材を切り、大鍋に四杯の豚汁が完成。全園児でお昼にいただいた。

●チャリティーコンサート

十二月二日

十二月六日
京都いのちの電話主催のチャリティーコンサートに年中・年長組の希望園児が聖歌隊として参加。

●クリスマス礼拝・祝会

十二月十二日(年少組)
十二月十三日(年中・年長組)

十二月十二日(年少組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

●クリスマス礼拝・祝会

十二月十二日(年少組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

十二月十三日(年中・年長組)

女子大学史料室展示

広報で見る同志社女子大学

同志社女学校がそのはじめての広報「同志社女学校廣告」を『七一雑報』誌に載せたのは1878(明治11)年8月のことでした。以来、2004年4月開設予定の現代社会学部現代こども学科にいたるまで、さまざまな広報活動を展開してきました。この間のシェイクスピア・プロダクション公演、音楽学科演奏会、講演会、女子大学EVE、クラブ活動などのポスターを中心に、関連写真、資料を展示します。

〈期間〉2004年7月30日(金)まで ただし、土・日・祝日は閉室します。

〈時間〉10:00~16:00

〈会場〉同志社女子大学今出川キャンパス ジェームズ館107

〈入場料〉無料(事前申し込み不要)

〈お問い合わせ先〉同志社女子大学史料室 Tel. 075-251-4200

廣 告

京 都 同 志 社 女 学 校

本校例年通九月十八日(土)で開校式入校希望ノ方々ハ十五日(木)ニ來校アレ 但シ校 園入校手續等ハ御申込次第郵送スベシ
明治十五年八月

『七一雑報』/1882(明治15)年
8月11日掲載の広告